

VMware vRealize Orchestrator Plug-In for VMware Site Recovery Manager 8.2 リリース ノート

VMware vRealize Orchestrator Plug-In for VMware Site Recovery Manager 8.2.0.2 2019 年 10 月 3 日 ビルド 14706998 ダウンロード
VMware vRealize Orchestrator Plug-In for VMware Site Recovery Manager 8.2.0.1 2019 年 8 月 13 日 ビルド 14338491 ダウンロード
VMware vRealize Orchestrator Plug-In for VMware Site Recovery Manager 8.2 2019 年 5 月 9 日 ビルド 13480383 ダウンロード
VMware vRealize Orchestrator 7.6 Appliance 2019 年 4 月 11 日 ビルド 13020602 リリース ノート
VMware Site Recovery Manager 8.2.0.2 2019 年 10 月 3 日 ビルド 14706998 リリース ノート
VMware Site Recovery Manager 8.2.0.2 Virtual Appliance 2019 年 10 月 3 日 ビルド 14707091 リリース ノート
VMware Site Recovery Manager 8.2.0.1 2019 年 8 月 13 日 ビルド 14338491 リリース ノート
VMware Site Recovery Manager 8.2.0.1 Virtual Appliance 2019 年 8 月 13 日 ビルド 14383141 リリース ノート
VMware Site Recovery Manager 8.2 2019 年 5 月 9 日 ビルド 13480383 リリース ノート
VMware Site Recovery Manager 8.2 Virtual Appliance 2019 年 5 月 9 日 ビルド 13481390 リリース ノート
本リリース ノートに対する追加情報およびアップデート情報を適宜確認してください。

VMware vRealize Orchestrator Plug-In for Site Recovery Manager 8.2 パッチ リリースの情報は、これらのリリース ノートの関連セクションを参照してください。

- [VMware vRealize Orchestrator Plug-In for VMware Site Recovery Manager 8.2.0.2 Express Patch](#)
- [VMware vRealize Orchestrator Plug-In for VMware Site Recovery Manager 8.2.0.1 Express Patch](#)

リリース ノートの概要

これらのリリース ノートの内容は次のとおりです。

- [VMware vRealize Orchestrator Plug-In for VMware Site Recovery Manager 8.2 の新機能](#)
- [VMware vRealize Orchestrator Plug-In for VMware Site Recovery Manager 8.2 について](#)
- [インストールとアップグレード](#)
- [ワークフロー例](#)
- [注意と制限](#)
- [利用可能なパッチ リリース](#)
- [解決した問題](#)
- [既知の問題](#)

VMware vRealize Orchestrator Plug-In for VMware Site Recovery Manager 8.2 の新機能

VMware vRealize Orchestrator Plug-in for VMware Site Recovery Manager 8.2 リリースには VMware vRealize Orchestrator 7.6 のサポートが含まれています。

VMware vRealize Orchestrator Plug-in for VMware Site Recovery Manager 8.2 リリースには、次の新しいワークフローが導入されています。

- IP アドレスの設定 - 個別の仮想マシンの IP アドレス設定をカスタマイズする機能。IP アドレス設定ワークフローは、仮想マシンのリカバリ設定ワークフローの一部として呼び出されます。
- グループ データストアの更新 - アレイベースの保護グループでデータストアを追加および削除する機能。
- 呼び出しの削除 - 事前に指定したコマンドやプロンプトで、リカバリ中に仮想マシン レベルで実行されるものなど、パワーオン前後の手順を削除する機能。

VMware vRealize Orchestrator Plug-In for VMware Site Recovery Manager 8.2 について

VMware vRealize Orchestrator Plug-in for VMware Site Recovery Manager を使用すると、Site Recovery Manager の管理者は Orchestrator の堅牢なワー

Recovery Manager および Site Recovery Manager API の機能にアクセスします。事前ビルドされたワークフローが含まれているため、カスタム ワークフローの作成が簡素化されます。

インストールとアップグレード

Orchestrator Plug-In for Site Recovery Manager ソフトウェアは、Orchestrator のアプリケーション ファイルとして配布されます。

Orchestrator Plug-in for Site Recovery Manager のインストールは、必ず vRealize Orchestrator のインストールと構成が完了してから行ってください。詳細については、『VMware vRealize Orchestrator 7.6 のインストールおよび構成』ドキュメントを参照してください。

Orchestrator Plug-In for Site Recovery Manager を VMware vRealize Orchestrator 7.6 をインストールする方法の詳細については、VMware vRealize Orchestrator 7.6 のドキュメントの「Install a New Plug-In」のトピックを参照してください。

Orchestrator Plug-In for Site Recovery Manager をインストールしたら、Site Recovery Manager サイト上で vRealize Orchestrator インスタンスと vCenter Server インスタンスの接続を設定する必要があります。vCenter Server との接続を設定する方法については、VMware vRealize Orchestrator 7.6 のドキュメントを参照してください。

Orchestrator Plug-In for Site Recovery Manager のインストールが完了したら、次の手順に従って、vSphere Web Client で Site Recovery Manager ワークフローを確認できます。

1. vSphere Web Client で **[vRealize Orchestrator] > [Workflows（ワークフロー）]** ビューに移動します。
2. 階層を展開して、**[vRO Servers（vRO サーバ）] > [vco_server] > [Library（ライブラリ）] > SRM** フォルダに移動します。

Site Recovery Manager ワークフローを実行する前に、**[Library（ライブラリ）] > [SRM] > [Configuration（構成）]** を選択し、次のワークフローを実行して Site Recovery Manager を操作するためのプラグインを構成する必要があります。

1. **ローカルサイトの構成** ワークフローを実行します。
2. **リモートサイトの構成** ワークフローを実行します。
3. **リモートサイトへのログイン** ワークフローを実行します。

リモート サイトの Site Recovery Manager にログインするには、Orchestrator クライアント セッションごとにリモート サイトへのログイン ワークフローを実行する必要があります。Orchestrator クライアントからログアウトすると、Orchestrator は、自動的に Site Recovery Manager からログアウトします。

Orchestrator Plug-In for Site Recovery Manager 8.1.x をアップグレードするには、8.1.x バージョンのプラグインをアンインストールしてから 8.2 バージョンをインストールします。

Site Recovery Manager プラグインのアンインストール方法については、『VMware vRealize Orchestrator のインストールおよび構成』の「プラグインのアンインストール」のトピック、および次のナレッジベースの記事を参照してください。「Uninstalling a plug-in from VMware vRealize Orchestrator 5.5.x, 6.0.x, and 7.x」(<https://kb.vmware.com/kb/2064575>)

ワークフロー例

Orchestrator Plug-In for Site Recovery Manager には、次のようなワークフロー例が記載されており、Orchestrator を用いた Site Recovery Manager の自動化の方法を確認できます。

- 仮想マシンの作成、保護：
 - i. 仮想マシンを作成します。
 - ii. この仮想マシンを既存の保護グループに追加します。
- アレイベースの保護 (ABR) グループの作成、既存の仮想マシンの保護、リカバリ プランの追加：
 - i. ABR グループを作成します。
 - ii. 特定のデータストアに含まれる仮想マシンを保護するため、このデータストアを保護グループに追加します。
 - iii. 新しい保護グループを既存のリカバリ プランに追加します。

注意と制限

保護サイトが利用できない場合、次のアクションを実行する際に vRealize Orchestrator ワークフローは使用できませんが、代わりに Site Recovery Manager のユーザー インターフェイスを使用できます。

- リカバリ プランの作成、または仮想マシンのリカバリ設定の変更。
- リカバリ プランへのテスト ネットワーク マッピングの追加または削除。
- 既存のリカバリ プランへの保護グループの追加または削除。

利用可能なパッチ リリース

VMware vRealize Orchestrator Plug-In for VMware Site Recovery Manager 8.2.0.2 Express Patch

2019 年 10 月 3 日リリース | ビルド 14706998

- VMware vRealize Orchestrator Plug-In for VMware Site Recovery Manager 8.2.0.2 Express Patch Release では、以下のバグが修正されています。

VMware vRealize Orchestrator Plug-In for VMware Site Recovery Manager 8.2.0.1 Express Patch

リリース日：2019 年 8 月 13 日 | ビルド 14338491

- VMware vRealize Orchestrator Plug-In for VMware Site Recovery Manager 8.2.0.1 Express Patch Release では、以下のバグが修正されています。

解決した問題

- New**：「フォルダ マッピングの取得」ワークフローを実行すると、完了までの時間が長くなることがある
多数のマッピングがある場合に、「フォルダ マッピングの取得」ワークフローを実行すると、完了までの時間が長くなります。
この問題は Site Recovery Manager 8.2.0.1 で解決されています。
- New**：vCenter Server が統合モードの場合に、リカバリ プランにテスト ネットワーク マッピングを追加すると、リモート サイトが認証されずにワークフローが失敗する
vCenter Server が統合モードの場合に、vRealize Orchestrator plug-in for Site Recovery Manager で「テスト ネットワーク マッピングのリカバリ プランへの追加」ワークフローを実行すると、次のエラーとともにワークフローが失敗します。 リモート サイトが認証されていません。
この問題は Site Recovery Manager 8.2.0.1 で解決されています。

既知の問題

- N:1 共有リカバリ サイト構成内のすべてのサイトに対してユーザーが権限を持っていない場合、vRealize Orchestrator インベントリに Site Recovery Manager サイトが一切表示されない**
1つの vCenter Server インスタンスに対して、複数の Site Recovery Manager インスタンスを配置できます。すべての Site Recovery Manager インスタンスに対して権限を持っていないユーザーがローカル サイトの構成ワークフローを実行すると、vRealize Orchestrator インベントリに Site Recovery Manager サイトが一切表示されません。ユーザーが権限を持っている Site Recovery Manager サイトも表示されません。
回避策：すべての Site Recovery Manager インスタンスに対して権限を持っているユーザーが、ローカル サイトの構成ワークフローを実行します。
- Site Recovery Manager インスタンスを vRealize Orchestrator に追加した後にペアリングすると、そのインスタンスに対するリモート サイトの構成ワークフローの実行が失敗する**
ペアリングされていない Site Recovery Manager を vRealize Orchestrator インベントリに追加し、その後ペアリングした場合、リモート サイトの構成ワークフローを実行すると失敗します。
回避策：vRealize Orchestrator サーバを再起動します。
- ローカル サイトの構成、ローカル サイトの削除、またはリモート サイトの構成ワークフローを実行すると、リモート サイトに対する既存のセッションが無効となる**
ローカル サイトの構成、ローカル サイトの削除、またはリモート サイトの構成ワークフローを実行すると、ローカル サイトとリモート サイトの間に確立されていたセッションが無効となります。
回避策：リモート サイトに再度ログインします。
- Server.findAllForType(string type, string query) メソッドを呼び出すとエラーが発生する**
タイプ名のみを使用してのオブジェクト検索はできません。type 引数のみを Server.findAllForType(string type, string query) メソッドに渡すと、次のエラーが発生します：Unable to execute 'fetchAll' for type : ... : 'java.lang.NullPointerException'.
回避策：
Server.findAllForType(string type, string query) メソッドを呼び出す場合は、オプションの query 引数を渡す必要があります。
例：x = Server.findAllForType(type, "");



企業情報

VMware について

エグゼクティブ マネジメント チーム

自社環境における VMware 製品の活用

VMware の製品

お客様事例

ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン

環境と社会への貢献、ガバナンス

VMware の AI

採用情報

ブログ

コミュニティ

買収により合併した企業

オフィス所在地

VMware Cloud Trust Center

COVID-19 関連リソース

サポート

VMware Customer Connect

サポート ポリシー


製品ドキュメント

互換性ガイド

利用条件

ハンズオン ラボと製品のご試用

 Twitter


 YouTube

 Facebook

 Instagram

 Blog

 VMware User Group

 お問い合わせ

[利用条件](#)

[プライバシー](#)

[アクセシビリティ](#)

[商標](#)

[用語集](#)

[ヘルプ](#)

[フィードバック](#)